

## 地域で歩んだ…141年目の思い出アートに挑戦

今年度は来年3月で閉校を迎える横手市黒川小で稲で文字や絵を描く「田んぼ」アートを行い「黒小→北小」の文字を刻みました。運動の規模は大きいものではなかったものの、閉校を間近に控えた児童の皆さんをはじめ、地域の皆様の地元小学校に対する強い思いが感じられた活動となりました。黒川地区は、JAや中学校などの地域の中核施設が次々に合併（移転）となり、大きな建物のみが黒川地区に残っている現状です。今年度で小学校も閉校になりますが、人が集まる場として機能して行って欲しいです。私達が今できることは、地域住民と一体となり、農村保全などを考慮した「集いの場」を色々な事業を導入し最大限に活かすことだと考えております。今まで以上に地域活性化活動である21世紀創造運動を有効に利用し、頑張っていきたいと思っております。



内容	小学校児童と田んぼアートに取り組みました	
期間	6月3日～9月30日	
場所	黒川小学校の学校田	
活動普及対象	地元住民	
アピールポイント	今年度で閉校となる黒川小の思い出づくりとして、地域住民と一緒に活動を行いました	
自己評価	① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している 10%/20% ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している 20%/20% ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている 20%/20% ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる 20%/20% ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 20%/20%	組織の活性化 ・ <b>地域農業の振興</b> ・ 地域コミュニティへの貢献 ・ 地域資源の保全強化
今後の課題	新たな地域での、新たな活動を計画・実行したい	

